

令和 2 年度

活動事例発表報告書

Ⅱ 中・北信ブロック

市町村老人クラブ連合会ブロック研修会

活動事例発表から

一般財団法人長野県老人クラブ連合会

目 次

市町村老人クラブ連合会ブロック研修会

< 中信会場 >

松本市	松島熟年者会.....	25
塩尻市	原新田新寿会.....	29
安曇野市	ひといちばシニアクラブ.....	33

< 北信会場 >

長野市	若槻団地友愛クラブ.....	37
飯綱町	福井団地福寿会.....	41
小川村	稲丘西老人クラブ.....	45
中野市	大熊松寿会.....	49

※東・南信ブロック版は「活動発表報告書Ⅰ」に掲載

(参考) 「活動発表報告書Ⅰ」目次

< 東信会場 >

上田市	上田地域福寿クラブ連合会.....	1
佐久市	内山町老人クラブ.....	5

< 南信会場 >

伊那市	川北町高齢者クラブ.....	9
駒ヶ根市	市場割寿老会.....	13
岡谷市	岡谷市高齢者クラブ連合会.....	17
豊丘村	福島高齢者クラブ福寿会.....	21



松 本 市

松 島 熟 年 者 会

1 地域の概況

私たちの松本市島内地区は、昭和 29 年 4 月に島内村から松本市に合併し、かつての農村地帯から住宅地帯へと発展し、松塩地区広域ゴミ焼却場、糞尿処理場、ゴミ埋立地等が設置され、市にとっても重要な地区となっています。

当会が所属する松島町会は島内の南端にあり、島立地区の県の合同庁舎に隣接し、畑作地帯でありましたが、昭和 40 年 5 月 15 日に島内新橋町会から 55 戸 250 人で分町誕生して、住宅地として発展し、現在 450 戸、1,165 人で 65 歳以上の方が 268 人で高齢化率が 23%の町会です。



マレットゴルフ

2 老人クラブ（単位クラブ）の状況

(1) 会員数等

区 分	会 員 数 (人)			備 考 (加入率)
	男 性	女 性	合 計	
平成 30 年度	48 人	49 人	97 人	(38.3%)
令和元年度	52 人	54 人	106 人	(39.6%)
令和 2 年度	47 人	53 人	100 人	(38.2%)

(2) クラブの運営

昭和 50 年 4 月町会に高齢者の「喜楽会」を設立し、40 名の会員で島内高齢者クラブ連合会や松本市高齢者クラブ連合会に加入して活動してきましたが、平成 20 年 4 月喜楽会を廃止し松島熟年会を設立しました。

会の組織は 7 班に分かれ、この班長と三役・顧問・監査で役員会を構成しています。

会の運営は、市からの補助金と町会からの若干の補助金と 1 人当たり 1000 円の会費で運営しています。



健康マージャン

3 自治区（町会）との関係

平成 20 年 4 月に、さらなる充実を図り町会、公民会と一体となり事業を推進するため、喜楽会を廃止し松島熟年者会を設立し、町会、公民館の一環として活動してきてまして、町会とは非常に密接にかかわって活動しています。

4 活動（事業）の取組状況（昨年実績）

事業別に 10 種目の部会を作り、部会長、副部会長を選任し、部会ごとに年度計画を立て、全会員に周知し推進しています。

部会は公民館環境部会、健康維持手芸部会、児童等交流部会、資源物収集対応部会、マレット部会、マージャン部会、カラオケ部会、囲碁部会、親睦旅行部会、そば等旬食探訪部会の 10 部会で、町会を 3 ブロックに分け、それぞれ責任者を決め周知徹底を図っています。

1) 環境美化・社会奉仕活動

公民館環境部会で公民館に花壇を造り、敷地内の草取り清掃を行っています。毎年5月1日に始まり、11月初旬に花壇を撤去し、更に市から交付される越冬用花苗を移植するまで、毎月一日に朝から作業し、終了後打合せ会議及び茶話会を行い、情報交換をしています。また花の水くれ等は、全会員に割当て毎日行っています。

2) 健康増進活動

健康維持部会で年5回の健康教室や「もの作り教室」を町会と共催。「ヨガ教室」、「料理教室」実施

健康増進活動が盛んで、島内高齢者クラブ連合会の体育祭や松本市高齢者クラブ連合会の健康大会にも多数参加しています。

3) 世代間交流

町会在住26名の中学生と公民館周辺の水路の草取り清掃を行い、学都松本の講義を受けるとともに、児童等交流部会で小学生と7月、12月、1月の3回、室内競技、餅つき大会、繭玉づくりをしています。



中学生との交流会

4) 仲間づくり事業

ア 町会女性の仲間づくり推進のため、平成29年度から「松島女性サロン」をつくり、会員が中核となって月1回実施

イ マージャン部会：毎月2回、第1月曜、第3土曜

ウ 囲碁部会：毎月2回、第2水曜、第4水曜

エ カラオケ部会：第3火曜カラオケバンバン店にて開催

5 会員増強について

毎月一日の活動の後の茶話会の中で未加入者の掘り起こしなど話したり、マレットゴルフやカラオケ、囲碁やマージャンなどの趣味の会を通じて勧誘に勤めています。

6 課題と今後の活動について

私たち松島熟年者会は、会員数も増加傾向にあり、事業別に10種目の部会を設け、比較的活発な活動を行ってはいますが、行事への参加する方が、限定されてしまう傾向にありますので、全会員が一つの部会でも参加できるようにする対応を検討していきたいと思っています。

また私たち松島熟年者会が発足出来たのは、町会や公民館の協力が大きなものでしたので、今後とも町会事業、公民館事業と更にタイアップして事業を展開していきたいと思っています。

最後になりますが、私たち松島熟年者会のある島内地区の「島内地区高齢者クラブ連合会」において単位クラブの休会が続き平成25年度の14クラブが、9クラブとなっている問題ですが、主な休会の原因は役員のみならず手不足によるものなので、休会中のクラブを復活させて、以前の状況に戻していきたいと思っています。



碁



塩 尻 市

原 新 田 新 寿 会

1 地域の概況

塩尻市は長野県のほぼ中央に位置し、東京方面と名古屋方面の文化が交わる県内随一の交通の要衝で、木曾漆器や、ワインの生産も有名です。また、エプソンを中心に精密機器等の製造も盛んです。

私たち原新田新寿会のある塩尻市原新田地区は、市の北部に位置し、JR広丘駅を中心に市内でも特に賑やかな地区です。歌人 太田水穂の生誕地であり、毎年秋には「全国単価フォーラム in 塩尻」が開催され、“短歌のさと”に多くの愛好者が集まります。



春季旅行 館山寺温泉にて 信濃の国合唱

2 老人クラブ（単位クラブ）の状況

(1) 会員数等

区 分	会 員 数 (人)			備 考
	男 性	女 性	合 計	
平成 30 年度	41 人	31 人	72 人	
令和元年度	49 人	42 人	91 人	
令和 2 年度	47 人	40 人	87 人	

(2) クラブの運営

原新田新寿会は、平成 26 年に塩尻市老人クラブ連合会が塩尻市友愛クラブ連合会と名称変更したように、私たち原新田も「新寿会」と称し、“老人”という言葉できるだけ使わない運用を心がけています。

会費は年会費 1,000 円で、ほか、市・地区社共からの補助金、市友連からの助成金などで運営しています。

会の組織は、三役、監事、顧問の役員のほか、女性部会、教養部会、社会奉仕部会、保健体育部会、交通安全部会、会員増強推進委員で活動を推進、地区は 6 班に分け、連絡員を配置しています。



銭太鼓クラブ演舞
(敬老会にて)

3 自治区（町会）との関係

区から独立して運営・活動していますが、地区の美化清掃活動や地元行事に積極的に関わっています。

4 活動（事業）の取組状況（昨年実績）

1) 環境美化（社会奉仕活動を兼ねて）

毎月 1 日開催の定例会にて、ラジオ体操後、山ノ神、津島神社境内、児童公園、広丘駅前前の清掃や花壇整備。清掃活動で年間 450 のゴミ袋を 150～160 袋処理しています。

2) 健康づくり（ふれあい交流を兼ね）

- ア マレットゴルフ：4～11月まで活動
- イ グランドゴルフ：月5回くらい
- ウ カラオケ：年2回行
- エ 定例会の後、銭太鼓のサークル活動
- オ 5月、ボランティアにより南京珠すだれを使った身体運動

3) 世代間交流

銭太鼓の披露など小学校・保育園との交流事業

4) ふれあい交流会

新年会で福笑い会

5) 交通安全活動

塩尻警察署と県安全協会の協力による体験講習会



交通安全体験講習会

6) 会員親睦旅行

毎回 30 名前後の参加者。春：浜松と館山寺温泉、11 月：飛騨の下呂温泉から合掌村

5 会員増強について

会員の若返りと増員を目指し、平成 29 年から【新寿会】に定例のマレットゴルフ会を発足させ、若い世代の加入を促したり、「会員増強推進委員会」を独自に組織し、委員長以下委員の方々が積極的に且つ地道に増強活動を行いました。

結果、平成 30 年度には 72 名だった会員数が、現在 94 名（16 人増／※年度当初より更に増員）と大幅な増員が叶いました。

一方、入会率が 15%に満たない状況であり、今後さらに会員増強を加速するため、こういった事が有効であるか、研究していく必要性を感じています。

6 課題と今後の活動について

会員増強に際し、できれば若年高齢者に加入してもらいたいとの思いがあります。

“老人”という言葉を使わないほか、若年層が抵抗なく参加できるような事業を計画していきたいと思います。

そのため、新しい講習会、講演会などの機会には地区の公民館に加入促進のチラシを配置したり、行政広報と一緒に回覧してもらったりしているが、チラシだけではなかなか反応がないのが現状で、やはり、積極的は声掛けが重要だと思います。



南京玉すだれ



安曇野市

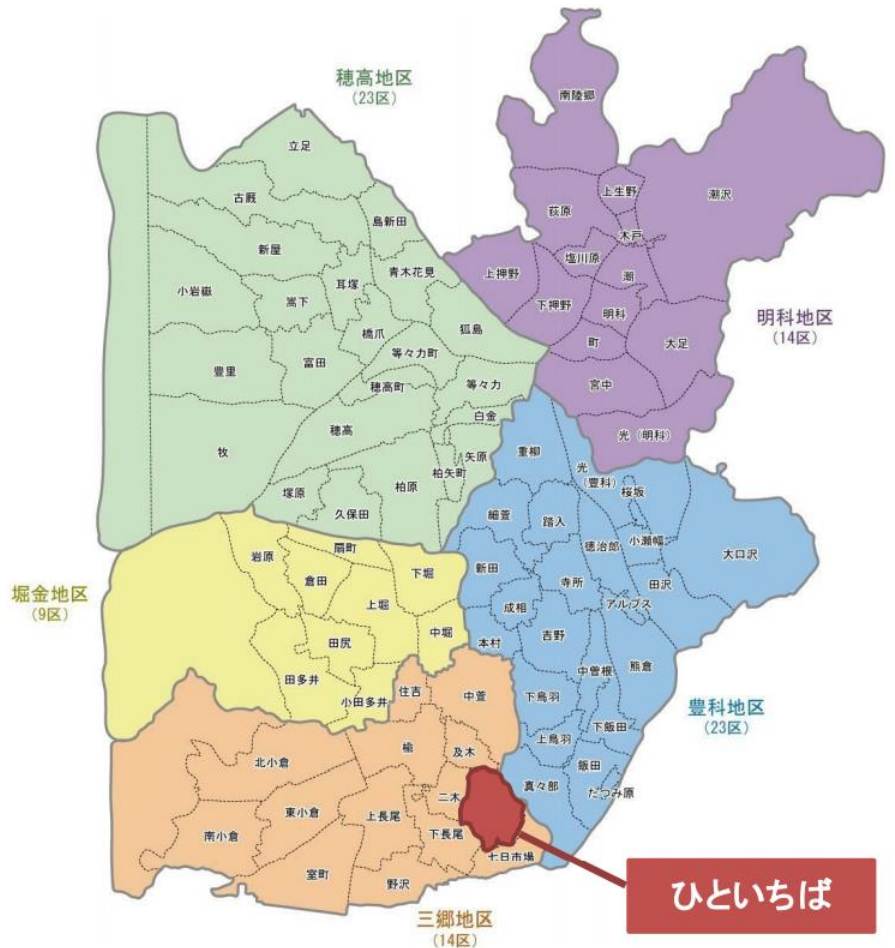
ひといちばシニアクラブ

1 地域の概況

安曇野市一日市場（ひといちば）地区は、大糸線一日市場駅の南西を中心とした旧三郷村明盛一日市場で、松本方面へのベッドタウンとして発展したところです。

戦前、昭和の初め頃は200戸に満たない地域でしたが、現在は、世帯数1,413戸・人口は3,548人と、大きな集落となりました。人口構成は、65歳以下が2,614人（割合26%）、65歳以上が934人（割合26%）です。（令和2年2月1日現在）

駅から徒歩15分圏内で利便性も良く、銀行・医療機関・役場・郵便局・商店・飲食店等、生活に便利な環境が整っています。



2 老人クラブ（単位クラブ）の状況

(1) 会員数等

区分	会員数（人）			備考 （加入率）
	男性	女性	合計	
平成30年度	52人	68人	120人	(13.3%)
令和元年度	51人	67人	118人	(13.1%)
令和2年度	52人	73人	125人	(13.8%)

(2) クラブの運営

地域には高砂会という老人クラブが存在していましたが、役員の成手がなく平成20年に解散してしまいました。

再出発は22年4月、会員68名で再スタートしました。再スタートに当たり、発足主題を「楽しむ・遊ぶ・動く・家から出る事で、介護の予防の予防」とし、旅行・飲み会・ゲートボール・お楽しみ会から脱皮するために、区民からのアンケートをとり、会でしたいこと・望む活動を確認の上、規約を作り、活動することにしました。

会員資格は、概ね65才以上、年会費(1000円)の他、必要経費は自己負担しています。

交通手段が必要なときは、自己責任の中で相乗りです。会としての敬老祝賀会は行いません。



花壇づくり

3 自治区（町会）との関係

解散していたクラブを復活するにあたり、民生委員・区長・ボランティア会長の協力をいただき設立準備会を設置し「ひといちばシニアクラブ」を立ち上げました。

4 活動（事業）の取組状況（昨年実績）

ひといちばシニアクラブの活動は、サークル活動にあります。

初年度は3つサークルでしたが、現在は12サークルで、運営を各サークルリーダー・責任者に全面委任しており、このことによる役員業務の分散化により役員交代もスムーズに進んでいます。

23年度から「年間サークルカレンダー」を作成し行事の予定が誰にでもわかるよう工夫しています。

1) サークル活動

- ア ウォーキング：1回/月、5～8キロの行程を2～2.5時間かけて散策
- イ 健康体操：2～3回/月、1時間、無理なく体にやさしく楽しい健康体操、健康維持、脳トレーニング、ヨガなど
- ウ マレットゴルフ：1回/月、2～3時間、黒澤マレットゴルフ場など
- エ 地域学習会：1回/月、2時間、村誌を活用し地元の歴史の勉強会
- オ ボーリング：1回/月、2時間、アピナボウル安曇野店にて3ゲーム
- カ カラオケ：1回/月、3時間、2～3曲/人、社協娛樂室など
- キ 手芸里芋の会：1回/月、2時間、小物づくり・編み物・料理・会食会
- ク 健康マーじゃん：2回/月、4時間、賭けない・飲まない・吸わない・食べない「4無いルールによる健康マーじゃん」
- ケ 花壇づくり：通年、一日市場駅前花壇に夏の花・冬春の花を植栽
- コ 里山歩き：1回/月、コースタイム2～4時間程度で登れる里山歩き
- サ 歌声サークル：1回/月、2時間、演歌・童謡・歌謡曲等のお茶のない歌声喫茶
- シ バランスボール：2回/月、1時間、ボールを使用した柔軟体操



- 2) 研修旅行2回(1泊2日、日帰り)
- 3) 公共施設清掃奉仕活動:公園、社協、公民館等清掃
- 4) 健康生きがい講演、見守り活動等全員参加型行事
- 5) ボランティア活動:データービス慰問・介護施設慰問等

5 会員増強について

対象者は約900名いると推測されるものの、入会しません。

勧誘にあたり、クチコミや全戸回覧に加え、行政の関与が必要と考えています。

6 課題と今後の活動について

高齢者が増えているにも関わらず、生涯現役で仕事をしている人、老人ではないといって入会を断る人、助け合い・ボランティア精神や協調性、自己主張による価値観の相違があり、若い人が入らないことによる役員の発掘ができないという課題があります。

そうした中、今回のコロナ禍で、発足主題である「家から出て、楽しむ・遊ぶ・動く活動」に対して真逆の制限である、3蜜(密集・密接・密閉)を避け、家から出ない活動とは、どんな仕法があるのだろうか考えるに、老連においては、在宅・リモート活動・ウェブ活動を考えたことがないので、新しい老人活動(生活様式)を、考えなくてはならないと思います。



ウォーキング



長野市

若槻団地友愛クラブ

1 地域の概況

若槻地区は長野市北部の北国街道沿いにあり、農業・工業・住宅地からなる地区です。世帯数は約 8,000 戸、人口は約 2 万人です。なかでも若槻団地は、昭和 39 年から長野県企業局により造成・分譲され、住宅 1,100 戸、人口は約 2,500 人となっています。令和 2 年 3 月に活動拠点の新自治会館・公民館が完成しました。



新自治会館・公民館

2 老人クラブ（単位クラブ）の状況

(1) 会員数等

区分	会員数（人）			備考
	男性	女性	合計	
平成 30 年度	76 人	68 人	144 人	
令和元年度	83 人	71 人	154 人	
令和 2 年度	84 人	70 人	154 人	

(2) クラブの運営

「友愛クラブ」という名称で、昭和49年に発足し、46年間にわたり活動を続けています。会の組織は、16の班に班長を置き、会長、副会長、部長の三役の計22名で役員会を構成。会の運営は、事業計画・予算を基に三役会で企画立案した各事業を班長や他団体の協力を得て実施しています。

運営経費は、年会費(個人会員1,000円、夫婦会員1,800円)と長野市及び長野市老連からの助成金で賄っています。

3 自治区(町会)との関係

自治会応援ボランティアに多数参加するとともに、育成会活動にも積極的に協力し未来を背負う子供たちの活動を応援するなど密接に関わっています。

4 活動(事業)の取組状況(昨年実績)

友愛クラブの活動は、健康づくりとふれあい交流を兼ね備えた活動を中心に展開しています。

1) ふれあい活動としての誕生会：年4回(6月、9月、11月、2月)実施

飲食しながら、演歌、踊り、脳トレクイズ会、健康講座

2) 会員親睦旅行：春、白馬八方温泉一泊旅行 参加29名

秋、美ヶ原温泉一泊旅行 参加19名



誕生会

3) 同好会的活動：

ア 花水木の会：踊りの会、毎月2回

イ グランドゴルフの会：毎週2回

- ウ ゲートボールの会：週3回
- エ スポーツ吹き矢の会：月2回



ゲートボールクラブ

4) 社会奉仕活動：

- ア 小学生の登下校時の見守り活動
(毎月第二水曜日)
- イ 祭り前の諏訪神社境内の清掃 (9月)
- ウ 緑の広場の草取り (8月)
- エ 花壇の整備

5) 世代間交流活動

- ア 子供神輿組み立て・解体手伝い
(9月)
- イ しめ縄づくり
講習会(12月)
- ウ どんど焼き準備
手伝い(1月)



どんど焼き

6) 「友愛クラブだより」

発行にあたっては、内容と共に写真やカットを多くし、見やすく親しみやすく全員に周知できるよう心掛けています。

5 会員増強について

友愛クラブでは、知人や友人、隣組近所などに、入会の誘い・声掛けを積極的に行うとともに、自治会の広報誌に活動の様子や会員募集の案内を掲載しています。さらに、サークル活動を通じて、積極的に勧誘活動をしています。

6 課題と今後の活動について

高齢者が増えているにも関わらず、会員数は150人台に止まっています。健康上の問題を抱える方もいますので、誰でも参加できる事業内容、生きがい・やりがいのある事業内容に工夫することにより、参加しやすく脱会者を出さない会を目指していきたくと思っています。

そのためにまずは、会員の要望を聞きながら活動内容を修正・補足し、会員が魅力を感じるような内容に吟味することが重要となります。

本年4月から会員の要望により「花を愛でる会」を発足させ、市の地域緑化事業制度を使い若槻団地全体の美化と環境整備に取り掛かりました。

また、運動が無理な方でも参加できる「ボッチャ」というスポーツを取り入れ、誕生会の余興として育成会の子供たちと一緒にを行うことを予定しています。



花を愛でる会



飯 網 町

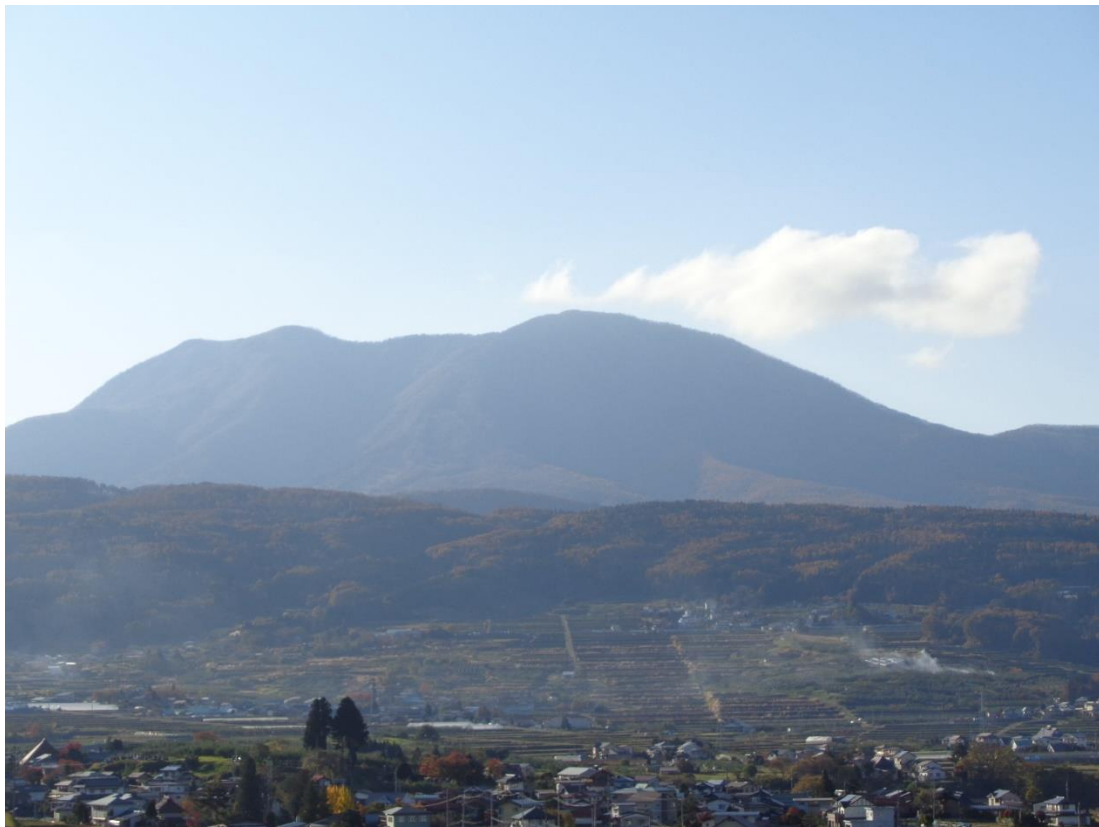
福 井 団 地 福 寿 会

1 地域の概況

飯網町福井団地老人クラブ福寿会は、長野市北部に接する飯網町南部に位置し、北に北信五岳を望み、南に善光寺平、志賀高原等を遠くに見る場所に位置します。

約40年前、長野市のベッドタウンとして県企業局が分譲した総戸数750戸、人口2,200人の戸建住宅で構成されています。当時約7割が、長野市周辺に勤務していたのが実感です。

現在は毎年少しずつ人口が減っている地区です。



飯網山

2 老人クラブ（単位クラブ）の状況

(1) 会員数等

区 分	会 員 数 (人)			備 考
	男 性	女 性	合 計	
平成30年度	32人	37人	69人	
令和元年度	39人	35人	74人	
令和2年度	34人	35人	69人	

(2) クラブの運営

会員の75%以上が80歳以上となっており、会員の高齢化が目立ち、会の運営もままならぬ状況で、行事を計画・実行しても、会員の体調、参加する為の足の問題等で参加者も年々減少傾向にあります。

大型団地の特性として、同世代が一挙に入居した為、現在高齢化が進んだ地域となっています。

会の運営は、年会費1,000円・町と区からの補助金、役員18名で運営しています。



環境整備

3 自治区（町会）との関係

福寿会は区から補助金をいただいておりますが活動は区から独立して運営活動しています。

しかし、各種団体として区の組長会、行事等には全て参加し意見を求められます。

福井団地の特色として、4年前、国の生涯活躍の町づくりモデル地区として約1,800万円の交付金が交付されました。それを元資にパワリハを設置しました。

パワリハは区の運営ですが、福寿会会員の為に週1日特定日を設定し、会員の交流・健康の増進の為に利用させていただいています。



花壇づくり

4 活動（事業）の取組状況（昨年実績）

福寿会の活動ですが、新年祝賀会、お花見会、年2回の親睦旅行、女性部の会、忘年会を定期行事として行っています。

- 1) 地域交流：地区の南部保育園との交流、保育園の花壇作り、七夕飾り交流、陶芸教室を行い、さらに、育成会とは×縄作りの講師として参加しています。
- 2) 地域貢献：福井団地入口に約200坪の土地を借り、年間6万円の予算で花壇作りし、団地に出入りする皆様に心地よい環境を提供しています。
- 3) 健康づくり：毎月1回のノルディックウォーキング、ゲートボール、マレットゴルフを行い、健康と親睦を深めています。
- 4) その他：飯綱町老連、町との行事にも積極的に参加しています。
老連の活動：シニア講演会、マレットゴルフ大会、ゲートボール大会、老連研修旅行



ゲートボール

町との行事：春秋の飯綱東高原のあじさいの手入れ、年2回の空き缶ひろい等に参加しています。

今考えると、行事が多すぎて、役員の負担が重すぎるのではないかと考えているところですが。

5 会員増強について

今までは、会員募集にあたっては、60代・70代の方にこんな活動をしているよ、面白いよ、楽しいよと言っても、なかなか入ってくれませんでした。方向転換して老人クラブに力を貸してくれという方向でお願いしましたら、6名の増加をみる事ができました。

6 課題と今後の活動について

私たち福寿会は、団地の特性として同世代が一挙に入居した為、当時40代・50代の方が今は80代・90代となっています。

また、その子供達が独立して家を離れ、老夫婦だけの住いが多く、また夫婦の一方が欠け一人住まいの会員もいます。これからの活動の中で老人クラブの活動の3本柱の1つ友愛活動を進めてまいりたいと思います。

今後、引き続き、新会員が明るく楽しく活動できる老人クラブ運営を心掛けてまいりたいと思っています。



総会



小川村

稲丘西老人クラブ

1 地域の概況

私たち小川村は、人口はおよそ 2400 人で、高齢化率は 46%程度、村民のおよそ 2 人に 1 人が高齢者という状況です。場所は長野市中心部から白馬村へ向かう通称「オリンピック道路」の丁度中間地点あたりに位置しており、北アルプスの眺めと、おやきが有名な村です。

私たちのクラブがある稲丘西地区は、村の中でも標高の高い所に位置し、大洞高原にはロマン館という宿泊施設やキャンプ場があり、なによりも北アルプスの絶景が見られる地域です。



アルプス

2 老人クラブ（単位クラブ）の状況

(1) 会員数等

区 分	会 員 数 (人)			備 考
	男 性	女 性	合 計	
平成 30 年度	21 人	26 人	47 人	
令和元年度	20 人	26 人	46 人	
令和 2 年度	21 人	31 人	52 人	

(2) クラブの運営

私たち会の名称は地区名どおり稲丘西老人クラブと申します。

会の組織は、行政区の中にある組ごと5班に分かれ、この班長5名と会長、副会長、女性部長の三役、計8人体制で役員会を構成しています。

会の運営は村の連合会からの活動助成金と、村からの活動助成金で運営しており、会員からの会費は徴収しておらず、会員からは、行事などの必要な時にお金を徴収しています。

3 自治区（町会）との関係

区が主催する区民旅行には会長が招待されます。

老人クラブ限定ではありませんが、区に在住の70歳以上の方を対象に、公民館の分館で敬老会を主催してくれています。

単位クラブの中に5班ある内、それぞれの班で、自分たちの地域にある観光名所となっているアルプス展望広場の公衆トイレの清掃や、観音堂の掃除などを自主的に行っており、地域の方から感謝されています。



観音堂

4 活動（事業）の取組状況（昨年実績）

主な活動内容としては、単位老人クラブを対象に、村営の温泉施設「小川の湯」に併設されている「いきいきプラザ小川荘」という介護予防事業のために建設された施設において村の定期保養事業が行われており、月に1回その保養に参加することです。

毎回、10人程が参加し、保養では社会福祉協議会が行う単位老人クラブを対象にした介護予防事業「いきいきサービス」を利用しています。



いきいきサービス

1) いきいきサービス

ア 社会福祉協議会の保健師または看護師などの職員から健康相談を受けたり血圧測定を行っています。

イ 介護予防のための体操やレクリエーション

ウ 併設の温泉に入浴したり仲間と会話したりして1日を過します

2) 小川村の「花いっぱい運動」という景観整備事業に協力

ア 昨年度、稲丘西地区にある村の施設「アルペンドーム」という屋内ゲートボール場の駐車場に、30メートルに渡りツツジを植栽

イ 今年の春にはアルプス展望広場の駐車場にマリーゴールドやサルビアなどを植栽

ウ なるべく単位クラブ会員全員が参加し、年に3回程草取りなどを行い管理

5 会員増強について

特に珍しい取り組みはしていませんが、令和2年度には新規で6人加入してもらいました。会長をはじめ、会長OBなどが地道に、直接、未加入者に声をかけ加入してもらいました。区の中の75歳以上の加入率はおよそ80%くらいです。そういった環境が入会しやすさに繋がっているのかどうかはわかりませんが、ただ、無理に入会を勧めたりはしていません。

6 課題と今後の活動について

役員の成り手が無いのを解消するため、役については年上から順番にやってもらっています。



花植え活動

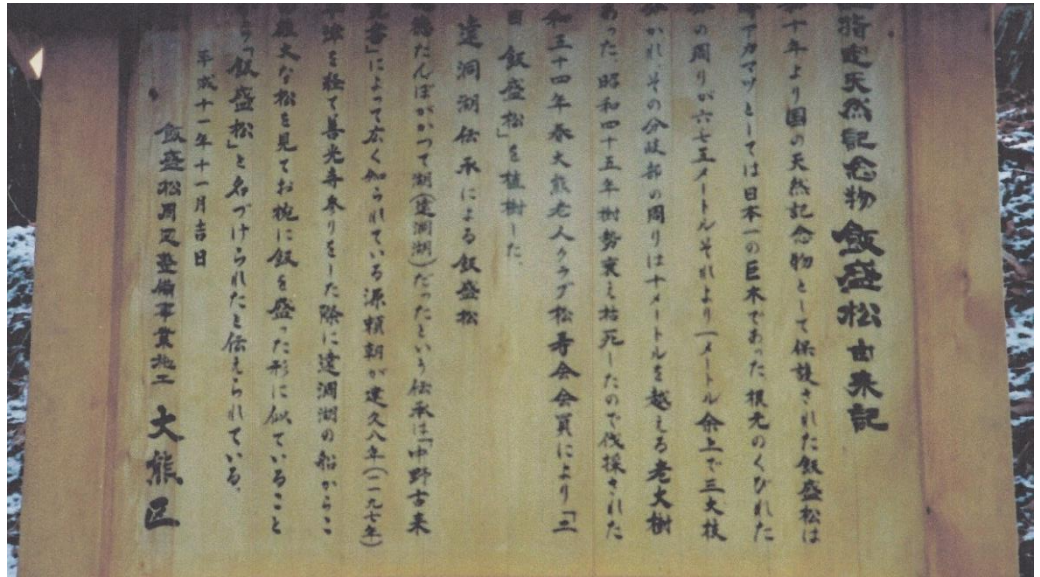


大熊松寿会

1 地域の概況

大熊松寿会のある中野市は県の北部に位置しており、市の西には千曲川が流れて北信五岳があり、東に志賀高原、北に高社山、南には広い延徳田んぼが広がり、まさに信州の原風景が広がっています。

私たちの大熊区はその延徳田んぼの東側山手にあって、西の方を眺めると北信五岳を一望でき、すばらしい風景が広がっています。人口は7月末現在で544名、戸数は210戸で、ここ2～3年は若干増加傾向です。



飯盛松由来記

65歳以上は224人・高齢化率は38.6%で、他地域に比べると若干高いと言えます。

また、近年、中野市はきのこ生産額が日本一ですが、この大熊地籍を中心にきのこ類の大型生産施設（作業場）が多く出来ました。その作業員として多数の外国人が来日し、大熊区だけで199名（男性4名、女性195名）の外国人が居住しています。そのため他の地区と異なり地域に活気があります。

2 老人クラブ（単位クラブ）の状況

(1) 会員数等

区分	会員数（人）			備考
	男性	女性	合計	
平成30年度	49人	65人	114人	
令和元年度	50人	57人	107人	
令和2年度	50人	55人	105人	

65歳未満	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～
2人	13人	19人	25人	23人	14人	9人

2) クラブの運営

大熊松寿会は昭和 34 年に発足しました。

地区の「大熊」という名称は、15 世紀前まで現在の延徳田んぼは「遠洞(えんどう)湖(こ)」という湖であり、千曲川の湾曲の場所にあたるため大きく曲がるという意味で、大曲(おおまがり)と書いて「おおくま」と呼ばれていましたが、近世になり大熊出羽守という人が管領した時から、「曲がり」が「熊」の字に代わり、現在の大熊になったと言われてい

ます。
松寿会の名称は、1197 年(建久 8 年)源頼朝が上州から善光寺へ参るとき、大きな松の木が飯を盛ったような姿だと言って「飯盛(いもり)松(まつ)」と名付けた大熊区の山手のアカマツの巨木から「松」をいただき「松寿会」としました。

3 自治区(町会)との関係

大熊松寿会は、区から公民館を經由して若干の補助金をいただいておりますが、運営、活動は、区、公民館から独立しています。

カラオケ部会は、農協祭りや公民館主催の敬老会で日ごろの成果を披露するとともに、マレット部会では市体育協会長杯大会に参加し上位入賞した会員もおり、地域と密接にかかわっています。



敬老会

4 活動(事業)の取組状況(昨年実績)

私たち大熊松寿会の活動の特徴は、カラオケ部会です。

今から 20 年前の平成 11 年度、区の住民から中古のカラオケ器具の寄贈を受け、翌年にこの器具を使って皆で唄って楽しむことに同意した人 24 名が集まりカラオケ部会として発足しました。

長きにわたるカラオケ部会の活動を見て、松寿会員から別の部会の提案がなされて次々と他の部会ができました。

各部会の活動は、

- 1) カラオケ部会：年会費 1,000 円、毎月第 2、第 4 土曜日の 13 時から 16 時まで活動、参加者 15 名程度
- 2) マレット部会：部員 30 名、年 6 回コンペを開催、会費はその都度徴収
- 3) 健康マージャン部会：総会時に会費を徴収、参加者数 17 名程度
 - ・ 月 1 回の説明会を開きルールの説明
 - ・ 毎月第 3 水曜日の午前に初級者、午後に上級者にわけて実施
- 4) 和会：部員が 30～35 名、年 1 回各地の温泉へ 1 泊旅行
 - 年 4～5 回市内温泉に、市のバスで日帰りで行き、食事や入浴は各自対応



カラオケ

カラオケにより心肺機能を向上させ、マレットゴルフにより足腰を鍛錬し、健康マージャンにより脳トレを行うことにより、健康づくりができるとともに、年齢に関係なく頑張ればできるのだという意識の向上につながっています。



5 会員増強について

まず、会員や区民の高齢化傾向に伴い、健康上の問題や家庭の事情等で、一時休会や脱退の申し出があった場合でも、もう少し入会を会員全体でお願いしています。

カラオケ部会では、特にカラオケが好きでもない方だと誘うことが困難だが、知人友人に声を掛けています。

マレットゴルフ部会では、マレットゴルフは必ずしも誰でも出来ることではないので、最初は軽く指導しながら入会をすすめる配慮をしています。

健康マージャン部会は、月1回第3火曜日に開催しており、60代の人にも声をかけています。

和会では、どこにも所属していない方を誘い、ゆったりした日程での旅行など工夫して働きかけていくよう努力しています。

6 課題と今後の活動について

松寿会の会員は70～80代が多く、今後は65～70代の会員を重点的に誘っていきたいと思います。